

## 「広町遺跡Ⅲ 発掘調査報告書」の刊行について

### 1. 主旨

(仮) 弥生町六丁目公園用地(弥生町6-1)の埋蔵文化財発掘調査「広町遺跡Ⅲ次調査」が完了し、調査報告書が刊行されたので報告する。

### 2. Ⅲ次調査の開発事業者及び調査担当

- (1) 開発事業者 中野区都市基盤部公園整備分野
- (2) 発掘調査担当 中野区文化・スポーツ分野文化財担当(文化財保護法第99条対応および補助執行による)

### 3. Ⅲ次調査期間

#### (1) 現地調査

確認調査 平成27年2月23日から27日まで

本発掘調査 平成28年9月5日から平成29年1月23日まで

#### (2) 区民対象現地見学会

平成28年12月17・18日 見学者494名

#### (3) 遺物整理・報告書刊行作業

平成29年1月23日から7月31日まで

### 4. 出土品管理 旧沼袋小学校教室に保管予定

### 5. 報告書取扱い 500部作成

都内各教育委員会及び博物館、図書館、区民活動センター、小中学校などに送付済み。約100部について、広報分野・歴史民俗資料館で頒布予定。

### 6. 「広町遺跡」全体の概要

#### (1) 現在までの調査履歴

1979年、区立丸太公園造成による調査  
(駒が坂遺跡という名称で調査)

2007年、マンション建設による調査  
(広町遺跡Ⅰ次調査)

2011年、マンション建設による調査  
(広町遺跡Ⅱ次調査)

※以上、出土遺物は歴史民俗資料館保管  
今回の調査(広町遺跡Ⅲ次調査)

#### (2) 現在までの調査面積

Ⅰ次調査 4,490㎡

Ⅱ次調査 540㎡

今回の調査 3,500㎡ 合計 8,530㎡

#### (3) 現在まで発見された遺構と遺物

A. 旧石器時代：集石12ヶ所(キャンプの跡)

B. 縄文時代：竪穴住居2軒

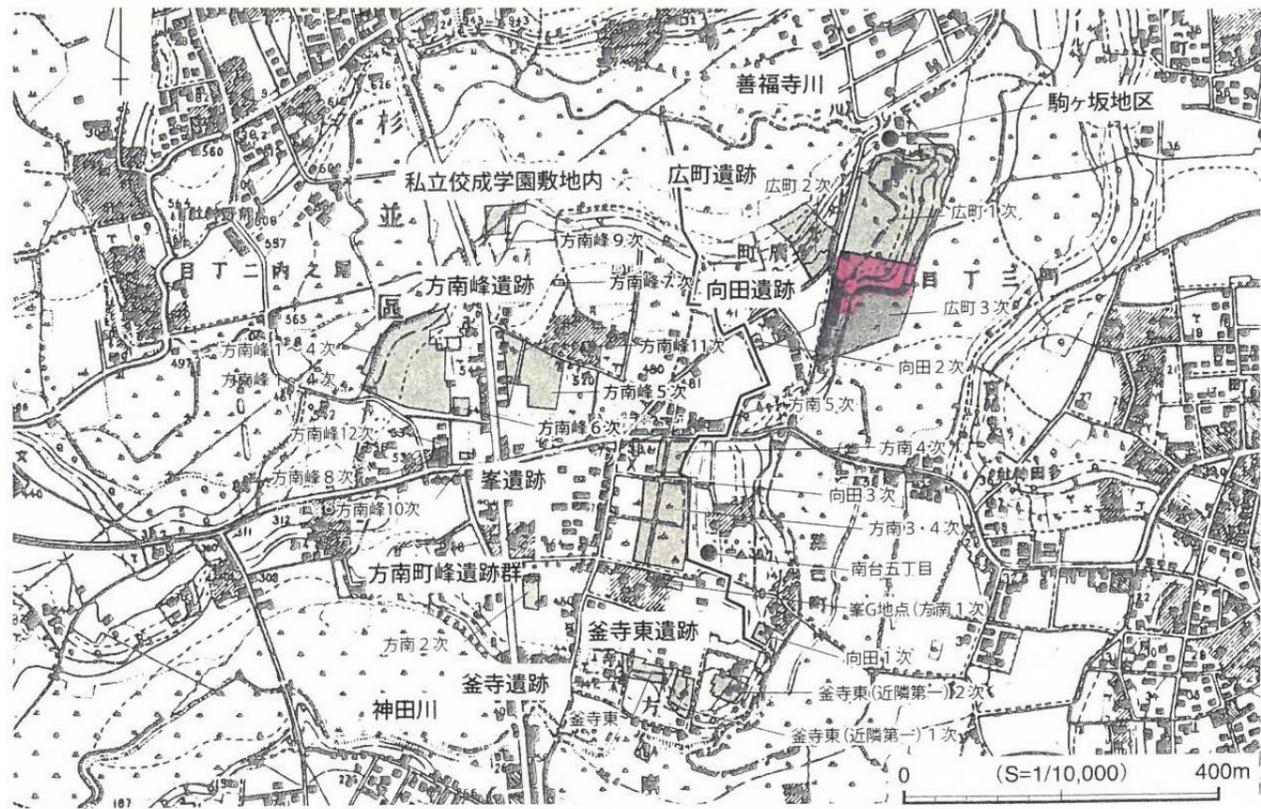
C. 弥生時代：環濠2(弥生集落を区画する溝)・竪穴住居124軒 ※中心となる時期

D. 古墳時代：古墳1基(周溝の一部のみ残存)・竪穴住居3軒

E. 近世以降：溝9条(土地区画溝)

### 7. 「広町遺跡」の特色

中心となるのは1世紀第4四半期から2世紀第3四半期頃に存続した弥生時代後期の集落で、中部高地・北関東や東海地方の土器をはじめ、ガラス玉・鉄石英管玉(佐渡の赤石)・鉄製品などの出土により、広域にわたる交流拠点としての役割りをもった遺跡と考えられる。



1号環濠



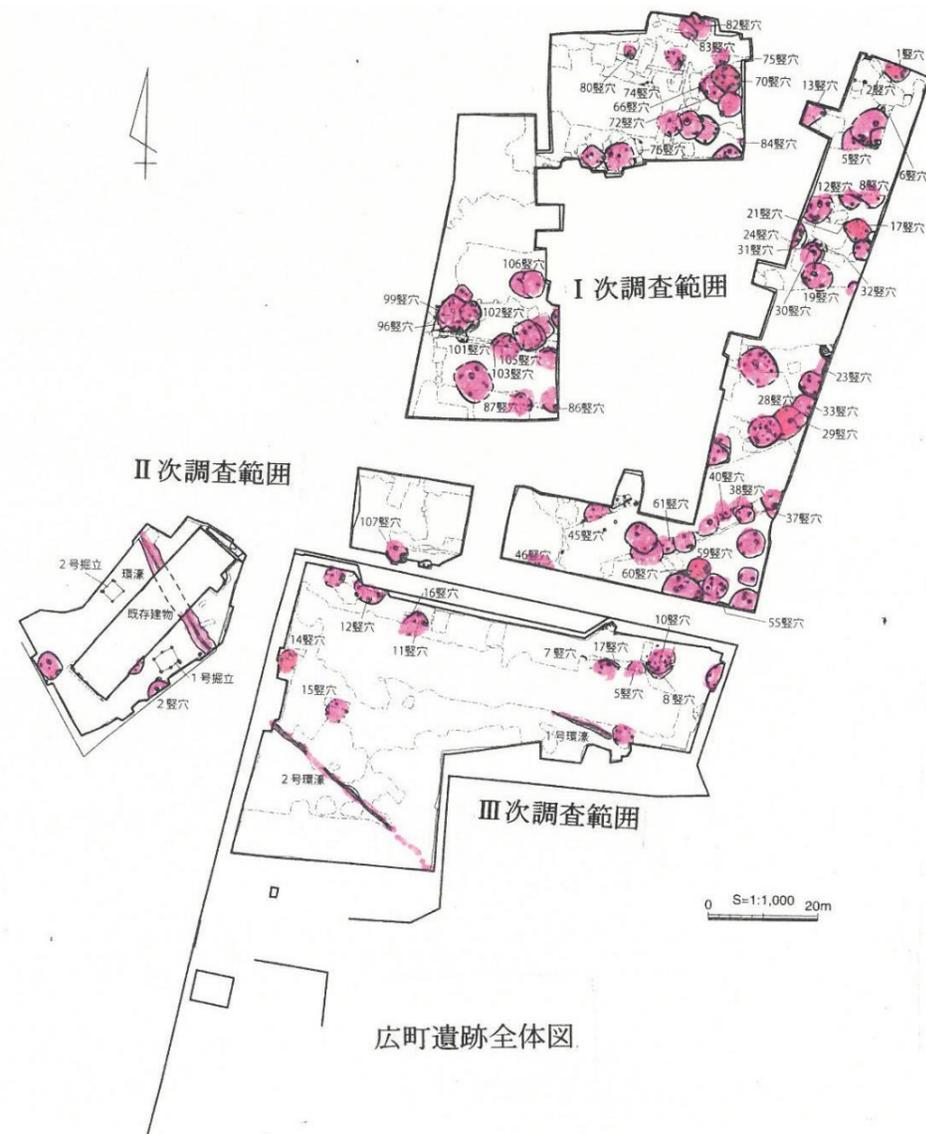
1号住居



管玉



ガラス玉



広町遺跡全体図



弥生土器 (壺)



区民対象現地説明会の様子